

◎ 8月『人事院勧告』で「4年連続の公務員給与改善」を！ ◎ 10月『県人事委員会勧告』で「県内の官民較差解消」を！ ◎ 夏休の取得促進、労働時間の適正管理、超過勤務の縮減を！



《バレーボール大会》



7月17日、今治市波方体育館で「県本部第50回女子バレーボール大会」を開催。体育館の「熱中症計」が「厳重注意」一歩手前の熱気の中、3試合

合の熱戦を展開。西条市職労チームが1位となり、「10/13」15自治労連全国バレーボール大会」（千葉県）の出場権を獲得しました。

【今 治】21-5・21-16【新居浜】

【西 条】15-21・21-17【今 治】
・21-12

【西 条】21-6・21-15【新居浜】

熱気の中で『熱戦』3試合！西条チームが全国大会出場へ

『退職手当削減反対署名』を提出。昼休憩後の人事院前の行動では、全国の代表6人が人事院に『公



感がありまし。こんな都会で歩道じやないところを堂々と歩けるんですね（笑）」などの

《中央行動》 炎天下「公務員給与改善！退職手当削減反対」など要求
7月21日「夏季要求実現・公務員賃金改善・中央行動」に愛媛6人（今治・伊予・内子：平均年齢20歳代）が参加。11時から内閣人事局前宣伝行動では、代表が『電通問題』にも触れ「長時間労働の是正」「退職手当引き下げ反対」などを訴え、全国から集まった『退職手当削減反対署名』を提出。昼休憩後の人事院前の行動では、全国の代表6人が人事院に『公

「愛媛でも人員不足が深刻。職員1人の業務量や負担が大きい。仕事に見合う賃金改善を」と訴えました。次に炎天下の日比谷野外音楽堂で「中央決起集会」を行い、最後に銀座まで「デモ行進」。愛媛参加者も元気にシュプレヒコール＆デモ行進を行いました。参加者からは「はじめての参加だったが、これだけの人が集まるなんてすごい。勢いがある」「デモ行進は、こんな都会で歩道じやないところを堂々と歩けるんですね（笑）」などの感想がありました。



宇和島病院労組は7月23日「牛鬼祭り」2日目『うわじま音頭』に参加する組合員さんを中心に「女性部ゆかた着付け」

【宇和島】牛鬼祭り「ゆかた着付け」家族連れ大好評でした
宇和島病院労組は7月23日「牛鬼祭り」2日目『うわじま音頭』に参加する組合員さんを中心に「女性部ゆかた着付け」

の機会を増やすため総支部の交流予算増額を」の要望も出るなど盛り上がりしました。

【南予総支部】 共済が加入者増につながる交流企画で『出会いの場』を
南予総支部は7月28日「定期総会」を開催し6単組支部18人が参加。和気総支部長が「春闘集会と同時に開催のボウリングで組合員交流し、若いカップルもできた。『共済実感キャンペーン』が加入者拡大につながっている。現在実施中の津島吉田病院労組に期待している」とあいさつ。新総支部長を竹内・内子町職員委員長とすることを確認。総会後の交流会では「出会い



第487号

発行所
自治労連愛媛県本部
松山市三番町8丁目10-2
電話(089)931-7312
FAX(089)933-1699
j-ehime@sage.ocn.ne.jp
発行人 後藤 重人
編集人 村瀬 瑞恵
(組合員の購読料は組合費のなかに含まれています)

日 程

- 【8月】
 - 9 保育部会幹事会・県子育て支援課要請懇談（県庁）平和の使者千羽鶴を海外に送るついで（松山）
 - 19 県本部拡大執行委員会・「2017人権学習会」市職評議会総会 非正規公共評幹事会 日本母親大会（岩手～20）食糧と健康を守る運動愛媛連絡会総会（松山）
 - 26 自治労連全国大会（さいたま市～29）
- 【9月】
 - 2 愛媛労連定期大会（松山コミセン）自治体にはたらく女性の交流集会（名古屋～3）
 - 9 青年部幹事会 現業評幹事会
 - 16 県本部拡大執行委員会・「秋の重点要求学習会」東予総支部総会 中予総支部総会 宇和島地域医療市民の会 総会

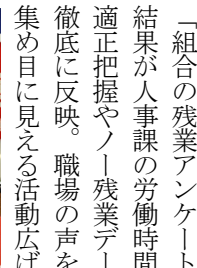


《県本部定期大会》

- ①職場の声を集める『要求活動』、
 - ②仕事ができる『職場づくり』、
 - ③チカラをあわせる『仲間づくり』すめ、
- 『住み続けられる地域』をめざそう！



「組合の残業アンケート結果が人事課の労働時間適正把握やノ一残業デー徹底に反映。職場の声を集める目に見える活動広げ



《要求活動・職場づくり》

「組合の残業アンケート結果が人事課の労働時間適正把握やノ一残業デー徹底に反映。職場の声を集める目に見える活動広げ

《組織強化仲間づくり》

「新採7人全員が組合加入。共済キャンペーン27人が継続加入」内子、「レクバレー」大会で1人組合加入し共済も加入」津島吉田病、「青年部『なぜ組合が必要か』考える企画実施。『情報発信』をよりわかりやすくタイムリーに」西予、「要求実現と組織強化拡大に県本部の役割重要。そのためには中長期的な財政方針が必要」新居浜、「昨年12月委員長に。『会社として話したために』と職場で1人ひとりと話し、組合員が3倍増。若い人が仕事がんばり、将来に夢が持てる会社にした」新居浜清掃など発言がありました。

県本部は7月22日「第76回定期大会」を開催し21単組80人が参加。最初に「内子町社会福祉協議会労働組合（コロナユニオン）」の県本部加入を承認し「組合旗」を贈呈。その後、①活動経過、②運動方針案（この1年間の7つの特徴）《組合活動の3つの原点》《すべの単組がめざす目標と視点・構えと重点》《具体的課題ととりくみ》、③決算・財政方針案・予算案を報告・提案。討論では18単組支部8部評市町村共済議員団・周病裁判原告が発言。全ての報告・議案が承認・採択され、最後に高尾新委員長・和気新書記長など新執行部を選出しました。

「6年半の裁判は残念な結果となったが、訴えたことは間違っていない、声あげたことが全国でのブレイキとなったと思う」周病裁判原告、「年休取得平均5・8日に減。残業アンケートで『誰かが倒れる前に組合ががんばれ』の声」四国中央、「育休取得代替で6人正規配置が実現。安定的な住民サービス提供のため職場全体の要求とすることが大切だ」新居浜、など発言がありました。

